

交際している女性がない未婚男性が6割を超えた(61.4%)ことが分かりました。交際相手のいない未婚女性も半数に迫っている(49.5%)とのことです。この中でも特に異性との交際を望んでいないと答えたのは男性は45%、女性は45.7%に上ったようです(出生動向基本調査より)。何故こうも独身志向を表す未婚者が増えたのでしょうか。いろいろ考えてみました。

まず第一に「必要性を感じない」と考えている男女が多いことです。いつでもどこでも簡単においしく食べられる食品がコンビニエンスストア等で手に入ることができ、食事に対する意識が変わったことでしょうか。昔は、食事を作ってくれる、掃除、洗濯をしてくれるお嫁さんを欲しかったのも結婚を望む1つの理由だったのが女性も仕事をするのが当たり前になるとそれらの要求もできなくなり、男性も女性も結婚より逆に負担が増えてくるということでしょうか。又、少子化で兄弟姉妹が少ないため家もあり親もいる居候が増えているのも一因でしょうか。もう1つは「社会意識の変化」です。結婚して子供をもって一人前という一人前神話が崩壊したということでしょうか。少子化で子供が少なくなり母親が男の子を溺愛することによる草食系男性の増加も一因かもしれません。女性が魅力を感じる男性が少ないということでしょうか。いずれにしても独身志向が高まり未婚者が増えることにより、少子化のみならず独居老人も増加し社会問題になることは必須です。女性達も気楽な女子会ばかりやっていないで隣の男性に声をかけてみたらいかがでしょうか。よい出会いがあるかも・・・。

体外受精児は年間約27000人と赤ちゃんの40人に1人を占めるようになってきました。人工操作を加える(胚盤胞にまで培養する)と体重増があるとの報告があります。体外受精児の健康調査はまだ始まったばかり、健康被害のない赤ちゃんができるよう日々努力していかないとはいけませんね。

